

◆平成30年度「ヒナを拾わないで!! キャンペーン」◆

WRVでは、(公財)日本鳥類保護連盟及び(公財)日本野鳥の会との共催により、平成30年度も変わらず、「ヒナを拾わないで!! キャンペーン」を展開しております。

本年度のキャンペーンに関して、当協会あてにご協賛いただきました団体(または企業)は、それぞれ以下の通りとなっております。ポスターにも既にご芳名を掲載させていただいておりますが、今回も各位より多大なるお力添えを賜わり、誠にありがとうございます。ここに、改めて深く感謝申し上げます。

<ヒナを拾わないでキャンペーン/協賛団体リスト> (43団体:五十音順)

公益社団法人 愛知県獣医師会	公益社団法人 秋田県獣医師会
公益社団法人 石川県獣医師会	一般社団法人 茨城県獣医師会
おおくぼ動物病院	公益社団法人 大阪市獣医師会
公益社団法人 大阪府獣医師会	大宮国際動物専門学校
公益社団法人 岡山県獣医師会	公益社団法人 北九州市獣医師会
公益社団法人 岐阜県獣医師会	公益社団法人 京都市獣医師会
公益社団法人 京都府獣医師会	株式会社 キリカン洋行
公益社団法人 神戸市獣医師会	国際動物専門学校
公益社団法人 滋賀県獣医師会	公益社団法人 静岡県獣医師会
NPO 法人 自然環境アカデミー	全国愛鳥教育研究会
高尾霊園犬猫墓地	東京環境工科専門学校
公益社団法人 東京都獣医師会	中津動物病院
公益社団法人 名古屋市獣医師会	公益社団法人 奈良県獣医師会
公益社団法人 新潟県獣医師会	新妻動物病院
公益社団法人 日本獣医師会	公益社団法人 日本動物病院協会
馬場総合動物病院	一般社団法人 兵庫県獣医師会
文永堂出版 株式会社	公益社団法人 北海道獣医師会
公益社団法人 三重県獣医師会	一般社団法人 宮崎県獣医師会
武蔵村山ペットメモリアルパーク	ムナテックス 株式会社
森久保薬品 株式会社	野生動物リハビリテーター協会
公益社団法人 山口県獣医師会	公益社団法人 横浜市獣医師会
公益社団法人 和歌山県獣医師会	

会員の皆様には、このニュースレターとともに本年度のポスターを同封させていただきましたが、本キャンペーンの主旨をお汲み取りいただき、これからもその普及啓発のためにご協力いただければ幸いです。

👉 見つけてもそのままに！ ヒナを拾わないで!!

近くには親鳥がいるから
だいじょうぶ。

みまもって、
野鳥の子そだて

ヒナを見つけ、
放っておけないと
判断された場合は、
各都道府県の
鳥獣保護担当部署に
ご連絡ください。

窓口の連絡先
一覧はこちらへ



私たちも応援しています!

(株)アシスト わんわん倶楽部 味の素(株) アトム(株) 学研グループ 株式会社建設 セントリーホールディングス(株)
 (有)真知苑 東亜建設工業(株) 株式会社ニコンイメージングジャパン(株) フジナガ(株) ベッティシヤシ 丸和油脂(株)
 三菱電機(株) 光村印刷(株) 森ビル(株) ユーキャン 株式会社横浜コム(株) ラモーダヨシダ リコーリース(株)
 千歳興 ムナテックス(株) (株)メール ハゲ鳥倶楽部

(公財)鳥獣保護協会 (公財)鳥獣保護協会 アルストロ・サステナブル(株) (公財)鳥獣保護協会 (公財)鳥獣保護協会 ねんくぼ自然観察
 (公財)鳥獣保護協会 (公財)鳥獣保護協会 (株)オサバ 大塚製薬 鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)カウガイ エンスヤブ カロウオ(株) (株)
 (公財)鳥獣保護協会 (公財)鳥獣保護協会 (公財)鳥獣保護協会 (公財)鳥獣保護協会 鳥獣保護協会 (株)トリノケン (公財)鳥獣保護協会
 株式会社(株) 株式会社(株) 株式会社(株) (株)サカサタ (公財)鳥獣保護協会 (公財)鳥獣保護協会 NPO法人自然環境アカデミー
 株式会社(株) 株式会社(株) (株)鳥獣保護協会 株式会社(株) (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会
 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会
 (公財)鳥獣保護協会 (公財)鳥獣保護協会 KYOTO (公財)鳥獣保護協会 日本野鳥の会 鳥獣保護協会 鳥獣保護協会 鳥獣保護協会
 ビック(株) (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会
 (公財)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会
 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会 (株)鳥獣保護協会

共催：(公財)日本鳥獣保護協会 m03-8378-8891 (公財)日本野鳥の会 m03-6436-2622
 NPO 法人野生動物救護協会 m042-829-1279

協賛：環境省 日本野鳥の会 鳥獣保護協会

イラスト：鳥獣保護協会 デザイン：鳥獣保護協会 2018年

平成30年度ポスター・表面

ヒナを拾わないで!!

日頃から私たちは、ごく身近な環境で、あたり前のように野鳥たちの姿を見ることが出来ます。それは何れも鳥類や雀、あひはひといふ自然の豊かさを表現してくれる存在です。指定が軒をたてる街なかや、ビルが立ち並ぶ都市部であっても、野鳥の姿を見かける事に違和感はありません。そう、野鳥たちは、私たちが暮らしている環境や空間を共有するかのよう、そこで生活しているのです。まるで、私たちの仲間や友人たちのように・・・

ただ、ここで忘れてはならないのが、野鳥が野生動物であるということです。つまり、私たちが見ているような大やぐらといったペットとは違い、いつも自分たちの力だけで生きていくのです。だから、私たちが勝手に捕まえて飼ったり、鳥かごに閉じ込めて餌を与えたりしてはいけません。

多くの野鳥は着先から夏にかけて、草木が伸び昆虫などが数多く姿を見える、前が豊富な時期に私たちの身近な場所ですべてをします。そんな時、道ばたや公園、車の道先などで、まだ幼い感じのする野鳥のヒナを見かける事があるはずですが、さて、どうすればいいのでしょうか？

そのヒナの姿をよく見てみてください。親鳥と比べると羽の色があまりはっきりとせず、胸が暗く体も少し小さく見えても、一週り羽が生えそろい、しっかりと立っただけならそれほきつと立っただけのヒナに違いありません。まだ、あまりうまく飛ぶことができません。ケガや異常の原因は、すぐにはわからないかもしれませんが、餌を獲物や人工で捕まえている状態であったらどうすればいいでしょうか。今後は親鳥とかけ離れた場所で見つけたら、親鳥を探して見つけるのが一番です。ですから、今後はそのままにしておくのではなく、親鳥を探して見つけるのが一番です。

野鳥の保護を促している動物病院などに連絡を入れて、指示を受けるようにしてください。

また、見つけたヒナの羽の色はほとんど生えそろって、立っただけならそれほきつと立っただけのヒナに違いありません。まだ、あまりうまく飛ぶことができません。ケガや異常の原因は、すぐにはわからないかもしれませんが、餌を獲物や人工で捕まえている状態であったらどうすればいいでしょうか。今後は親鳥とかけ離れた場所で見つけたら、親鳥を探して見つけるのが一番です。ですから、今後はそのままにしておくのではなく、親鳥を探して見つけるのが一番です。

野鳥はあくまで野生動物なので、いつでも少し鳥を育ててもらう必要はあって、それが大切です。野鳥たちのために、少しでもできることをしてあげてください。

もしヒナがケガをしていたら?

では、同じように身近な場所でヒナを見つけたものの、ケガをしていたり、うまく立てないなど、明らかにおかしい状態であったらどうすればいいでしょうか。今後は親鳥とかけ離れた場所で見つけたら、親鳥を探して見つけるのが一番です。ですから、今後はそのままにしておくのではなく、親鳥を探して見つけるのが一番です。

野鳥は法律で保護されています

野鳥は、自然の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(自然保護法)によって、国や地方公共団体の許可を得ることなく捕まえてはいけません。また、既に捕まえておられる方も、法律に従って管理する必要があります。法律を遵守し、鳥類を尊重し、大切に育てていただくことが大切です。

「ズメの「巣立ち前のヒナ」と「巣立ち直後のヒナ」

巣立ち前のヒナ

- 👁️ 目がちゃんと開いていないこともある
- 👉 羽が生えそろってあらず、親鳥より小さく、赤黒や暗い肌が見える状態のものもある

巣立ち直後のヒナ

- 👉 羽が生えそろってあらず、赤黒や暗い肌が見える状態のものもある
- 👉 親鳥より一回り生えそろっているが、上手に飛べないこともある
- 👉 親鳥のヒナより、黒い体色に反りなりするうちに次第に飛べるようになる
- 👉 親鳥より羽が短くても多いので、体の大きさは親鳥に近くなるが、少し小さく感じることが多い

「ヒナを拾わないで!!」キャンペーン

主催：(公財)日本鳥獣保護協会、(公財)日本野鳥の会、NPO 法人野生動物救護協会、鳥獣保護協会、鳥獣保護協会、鳥獣保護協会

プレゼント！ 地面にいるヒナを見つけた時の対応方法がもっと詳しくわかる!! 「ヒナとの関わり方がわかるハンドブック」先着 1,000 名様 にプレゼント!

応募事項 ① 氏名(フリガナ) ② 性別 ③ 郵便番号 ④ 住所 ⑤ 電話番号 ⑥ メールアドレスと「ヒナハンドブック」をご記入のうえ、メール(mailto:birdinfo@birdlife.jp)か、FAX(03-6330-8555)か、郵便(〒144-0031 東京都品川区西品川 3-9-23 丸和ビル 日本野鳥の会「ヒナハンドブック」事務局)で申し込ください。

お問い合わせ先 環境省 〒106-0012 東京都港区港南 2-5-6 第 10 階 TEL: 03-6378-8891 (公財)日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西品川 3-9-23 丸和ビル m03-6436-2622 NPO 法人野生動物救護協会 〒190-0013 東京都立川市喜多見町 1-29-16 富士パークビル 302 m042-829-1279



平成30年度ポスター・裏面